



国際ロータリー第2840地区 第2分区A

桐生ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

桐生ロータリークラブ
会長 塚越 紀隆
幹事 本田雄一郎

平成 22 年 11 月 8 日（月）桐生倶楽部に於きまして、福田一良ガバナーの公式訪問が行われました。

当日は、福田一良ガバナー、町田庄吉地区幹事が来桐され、川堀良治群馬第 2 分区 (A) ガバナー補佐、当クラブからは、会長、幹事、会長エレクト、地区役員、ガバナーノミニ、地区幹事予定者、新世代奉仕委員長、副幹事、そしてローターアクト会長、インターアクト顧問、インターアクト部長と大勢が参加し、11 時 10 分より約 40 分間、川堀ガバナー補佐の司会により和やかな懇談会が行われました。

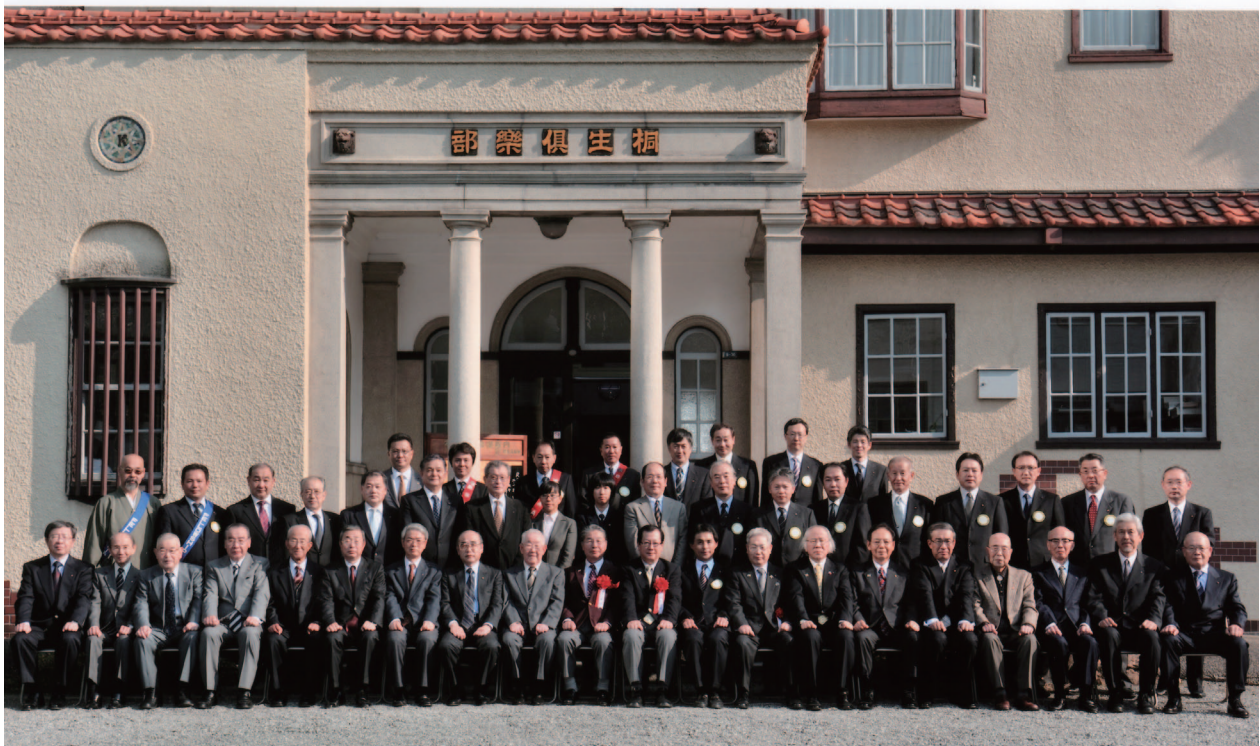
まず、当クラブ会長によるクラブの方針、特に後半の活動として桐生ロータリークラブの全委員会が取り組む予定である環境を考える合同プロジェクトについて説明が行われ福田ガバナーの評価をいただきました。

また、ローターアクト会長、インターアクト部長により活動の報告がされ、インターアクト顧問からは、地区委員会に対する要望がなされました。昼食後、12 時 30 分より例会行事が行われ、福田ガバナーより講話をいただきました。RI 会長方針も含め会員拡大や奉仕活動に対する考えなど、わかりやすくお話していただきました。

例会終了後、快晴の桐生倶楽部玄関にて、記念撮影が行われ、引続き全会員参加で福田ガバナー、町田地区幹事を囲んで懇親会が行われました。

懇親会は、クラブ協議会方式で当クラブの各委員会より今年度の活動内容並びに現況報告がなされ福田ガバナーよりそれぞれの委員会へアドバイスをいただきました。

本当に充実した有意義なガバナー公式訪問となり、2 時 50 分終了予定をオーバーしてしまいました。





国際ロータリー第2840地区 第2分区分A

桐生南ロータリークラブ

ガバナー公式訪問報告

桐生南ロータリークラブ
 会長 鈴木 章弘
 幹事 山根 明

11月9日(火)桐生プリオパレスにて、開催しました「2010～2011年度桐生南RC・桐生赤城RCガバナー合同公式訪問」の報告を致します。

日時：平成22年11月9日(火) 例会場：桐生プリオパレス

11:15 ガバナー到着。両クラブ会長・幹事・会長エレクト・地区委員でお出迎え。

例会前ガバナー懇談会メンバーと記念撮影。

11:30～12:15 例会前ガバナー懇談会(1F会議室)司会進行：川堀ガバナー補佐

出席者：福田ガバナー、町田地区幹事、川堀ガバナー補佐

桐生南 鈴木会長、山根幹事、薮会長E、石関地区委員、船山地区委員

桐生赤城 渡辺会長、草処幹事、瀬谷会長E、金井地区委員長

内容 両クラブ現況報告書に基づいたクラブ活動と今後の方針、抱える問題点等について、意見交換が行われた。

12:30～13:30 合同例会開会

1. 点鐘 2. 奉仕の理想斉唱 3. 来訪者紹介 4. 会長報告 5. 幹事報告 6. 会食 7. 委員会報告
 8. 福田ガバナー講話 9. 閉会(点鐘) 10. 我らの生業唱和 全員で記念撮影

13:40～14:30 例会後ガバナー懇談会

出席者：福田ガバナー、町田地区幹事、川堀ガバナー補佐 桐生南RC 12名 桐生赤城RC 14名

内容 両RCより3名づつ地区への要望、質問、意見等が発表され、意見交換が活発に行われた。

今回のガバナー公式訪問は、桐生赤城ロータリークラブとの合同という形式で実施され、事前準備等で打合せ等大変でしたが、他クラブの現況や例会スタイル、そして共通の問題点なども確認できたなど大変参考になった点もありました。

福田ガバナーの講話で、「グローバルな時代である現在、これまでの制度、仕組み、慣行をどう改革、変革していくかが重大な課題ある」とのお言葉がありました。今後も地域に根差し世界に目を向け、活力と魅力あるクラブづくりを推進していきたいと思いをしました。





国際ロータリー第2840地区 第2分区A

桐生西ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

桐生西ロータリークラブ
 会長 片貝 良一
 幹事 近藤 幸利

2010年11月5日(金)に福田一良ガバナーの公式訪問を受けた。

今年度は福田ガバナーのご意向により桐生中央ロータリークラブとの合同例会への公式訪問であった。過去に例がない合同例会での公式訪問であり、桐生中央ロータリークラブの会長、幹事との綿密な事前調整と、10月8日の川堀良治ガバナー補佐公式訪問によるクラブ協議会を経て、ガバナー公式訪問の準備を整えた。

当日は午前11時過ぎに福田ガバナー、町田地区幹事、川堀ガバナー補佐を桐生西、中央2ロータリークラブの会長、幹事が例会場の桐生プリオパレスの玄関でお迎えし、記念写真を撮影した。



午前中のガバナーとの懇談会では、ガバナーからの質問に2ロータリークラブが答える形式で行われた。ガバナーから、今年度のクラブターゲットの意味を中心に、又、インターアクト、ロータリーアクトの活動について質問があり、それぞれ会長がターゲットの意義について、又、インターアクトクラブ会長、顧問教師、ロータリーアクトクラブ会長が現況を報告した。



12時30分から通常例会方式で例会を行った。点鐘は2クラブの会長が同時に行い、会長報告も2クラブ会長が各々行った。ガバナー講話では、ガバナーは、ロータリークラブは時代遅れになった伝統的な慣習を大胆に見直して、勇気ある改革に挑戦が必要であると力説された。

記念写真撮影後、ガバナーとの懇談会が、コーヒーとケーキを飲食しながら和やかに行われた。2クラブの会員からガバナーへの質問が出され、ガバナー

から丁寧な返答をいただいたが、ガバナーからは一方的な質問にガバナーが答えるのではなく、活発な議論をしたかったとの感想をいただいた。しかし、この会合方式はロータリークラブの会合では通例で、質問者あるいは発言者が既に決められていて、自由な発言はしないことになっている。ガバナーの意図している、ロータリークラブの見直すべき伝統的な慣習の一つでもあり、今後は改変すべきものであろう。





国際ロータリー第2840地区 第2分区A

桐生中央ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

桐生中央ロータリークラブ
会長 酒井 豊
幹事 毒島秀樹

福田一良ガバナーを迎えて

平成 22 年 11 月 5 日桐生中央ロータリークラブの例会場でもあり、桐生西ロータリークラブ例会場でもある桐生プリオパレスにおいて、福田ガバナーの公式訪問が行なわれました。

今回は、二つクラブを同時に公式訪問されるという事で、クラブ内にも少なからず、戸惑いがありました。しかし、クラブ協議会が始まりますと、活発な意見交換がなされ、二つのクラブで行なう協議会も今までとは違い、色々な意味で活性化されたような気がしました。また、当クラブは会員数が少ないので、経費を削減した現況報告書で他クラブとは違ったものとなっていたため興味を示された感じがしました。

当クラブには、「さかいポケット」というユニークなものがあったり、今年 3 年目となる、新世代奉仕委員会が行なっている、サツマイモを育て、地域の幼稚園児や保育園児を呼び会員とともに芋ほりをする「芋ほり事業」のことなどを説明し、ガバナーと懇談することが出来ました。

当クラブに、ご訪問くださった、福田ガバナーに心より感謝申し上げます。

